



あなたの「見える」をみんなの安心に

エコモットはIoTを通じて
より安心な社会の実現に貢献します

撮影者 磯 真査彦氏

証券コード：3987



エコモット株式会社

2021年10月15日

2021年8月期 決算説明資料



© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

当社は創業以来、IoTインテグレーション事業を専業としています

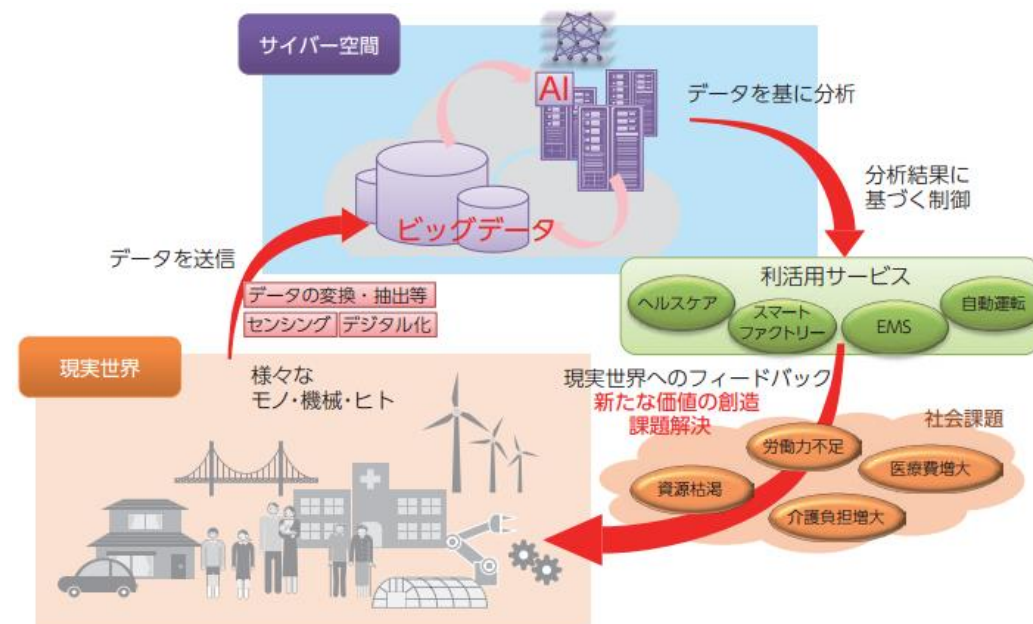
IoTとは

Internet of Thingsの略で「モノのインターネット化」と訳され「あらゆるモノ」をインターネットに接続、データ収集により「**現状の見える化**」を実現すること

IoTで収集したデータをクラウド上に蓄積（ビッグデータ化）し統計解析、人工知能（AI）等の分析手法を活用してデータを知識に変え、サイバー空間から**現実世界にフィードバック**することで効率化、高速化、安心・安全を提供し課題解決

当社が提供してきたIoT

「データを収集・分析し、現実世界にフィードバックするサービス」を提供し続け、**課題解決を実現**

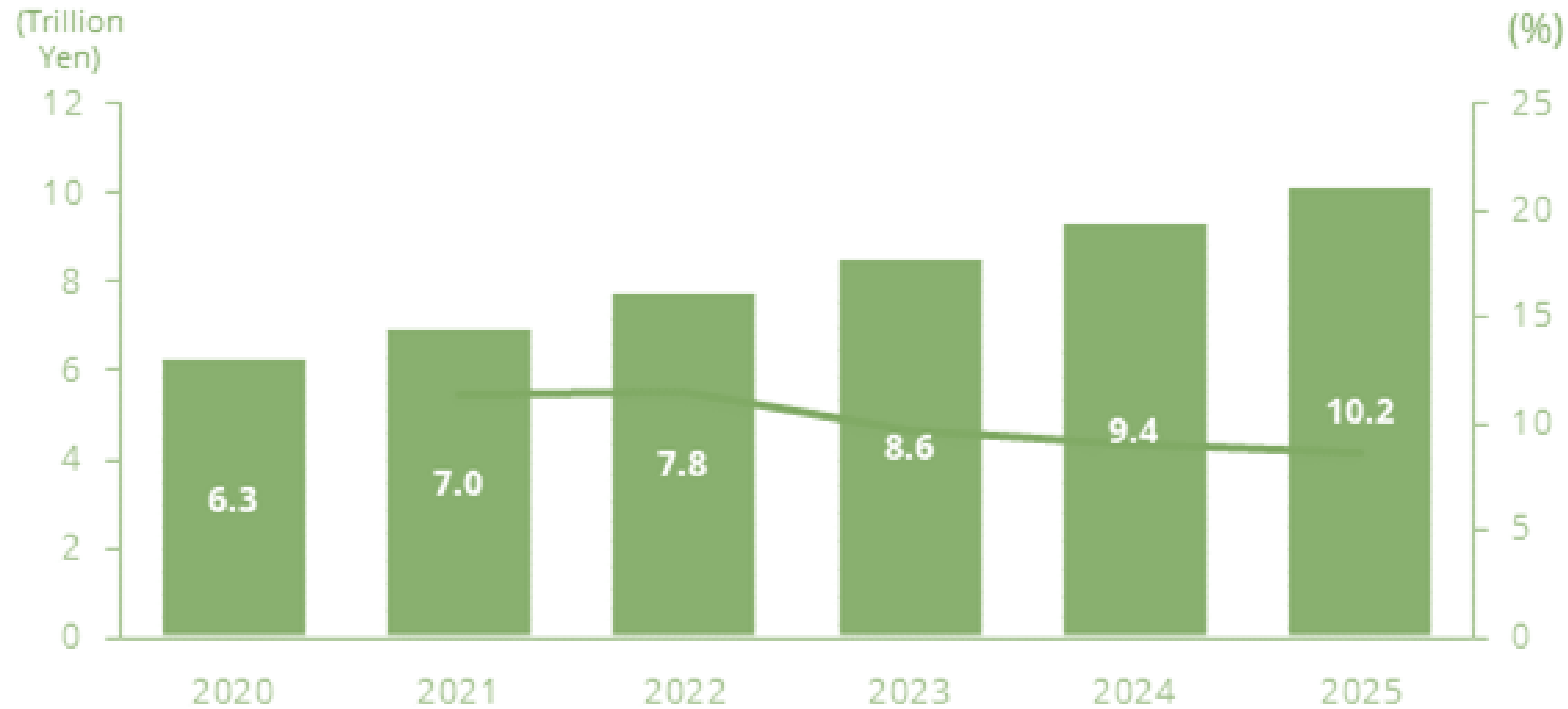


(出展) 総務省「平成28年版 情報通信白書」

IoT市場の成長力



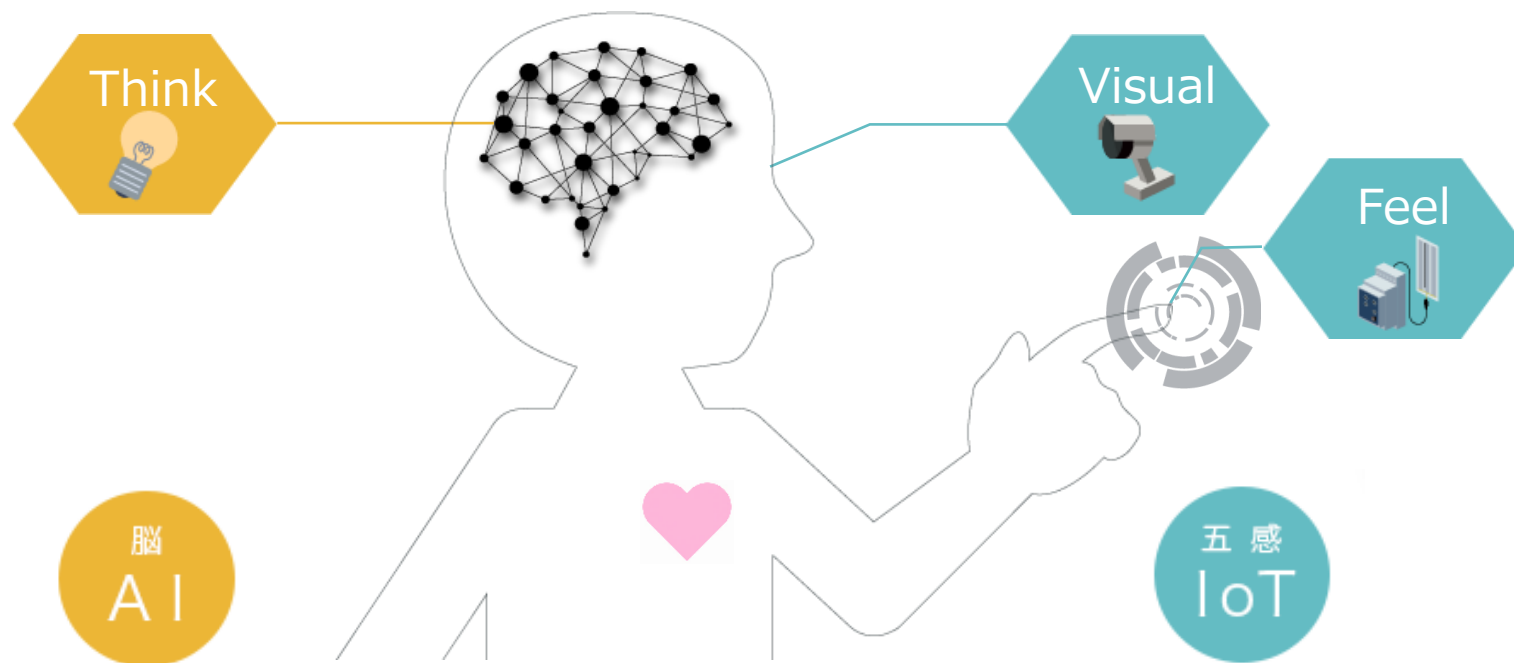
- 国内IoT市場におけるユーザー支出額について、2020年の実績（見込値）は **6兆3,125億円**
- 2020年～2025年の年間平均成長率（CAGR）は **10.1%**
- 2025年にこの市場規模予測は、**10兆1,902億円**に（2020年比 **1.6倍**）



2021年4月7日 - IDC Japan 株式会社 国内IoT市場 産業分野別予測

未来の常識を創る

～IoT x AI を活用し、社会の課題を解決するリーディングカンパニーを目指す～



アジェンダ

1. 2021年8月期決算概要

2. 2022年8月期通期業績予想

3. Appendix

業績ハイライト

売上総利益率は当初計画値を上回ったものの、売上高不足が直結し各項目において当初の計画値を下回る結果となった



(単位：百万円)

	前年同時期 (2019/9~2020/8)	当初計画	2021年8月期 通期実績	対計画比 (%)
売上高	2,346	2,650	2,162	△487 (△18.4%)
売上総利益	574	1,119	980	△139 (△12.4%)
売上総利益率	24.5%	42.2%	45.3%	+3.1pt
営業利益	△201	185	61	△123 (△66.7%)
営業利益率	△8.6%	7.0%	2.9%	△4.1pt
純利益	△281	126	13	△112 (△89.2%)
純利益率	△12.0%	4.8%	0.6%	△4.1pt

※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

ソリューション別売上高の増減要因



新型コロナウイルス感染症による営業活動の制限による機会の逸失も影響し、全体的に対計画でマイナス（対計画比△18.4%）各増減要因はソリューション概況の通り

（単位：百万円）

	前年同時期 (2019/9~ 2020/8)	当初計画	2021年8月期 通期実績	対計画比 (%)	ソリューションの概況
インテグレーション ソリューション	301	390	378	△11 (△3.0%)	・当第3四半期連結会計期間から株式会社フィットの損益計算書を連結したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により営業機会が逸失した影響で案件積上げが足りず、対計画で△11百万円となった
コンストラクション ソリューション	1,155	1,300	1,047	△252 (△19.5%)	・前年同期間に発生した大型案件が当期は無かったことで苦戦。測量系のIoTや遠隔臨場対応型新商品の出荷が好調となった一方で、定番商品の競争が激化したことにより、その販売が伸び悩んだ結果、市場の成長予想を考慮した対計画比で△252百万円となった
モニタリング ソリューション	454	410	334	△75 (△18.3%)	・ベース案件が堅調に推移し、3Gリプレイスも順調に進行した結果、モニタリングソリューション事業部単体では当初計画通りの着地となったものの、ストックのベース案件が失注や納期遅延となったことが大きく影響し、対計画比で△75百万円となった
モビリティサービス	435	550	402	△147 (△26.9%)	・3Gサービス終了を見据えた解約増加によるストック売上が大幅に減少。これを新規販売分でカバーしきれず対計画比で△147百万円となった
計	2,346	2,650	2,162	△487 (△18.4%)	-

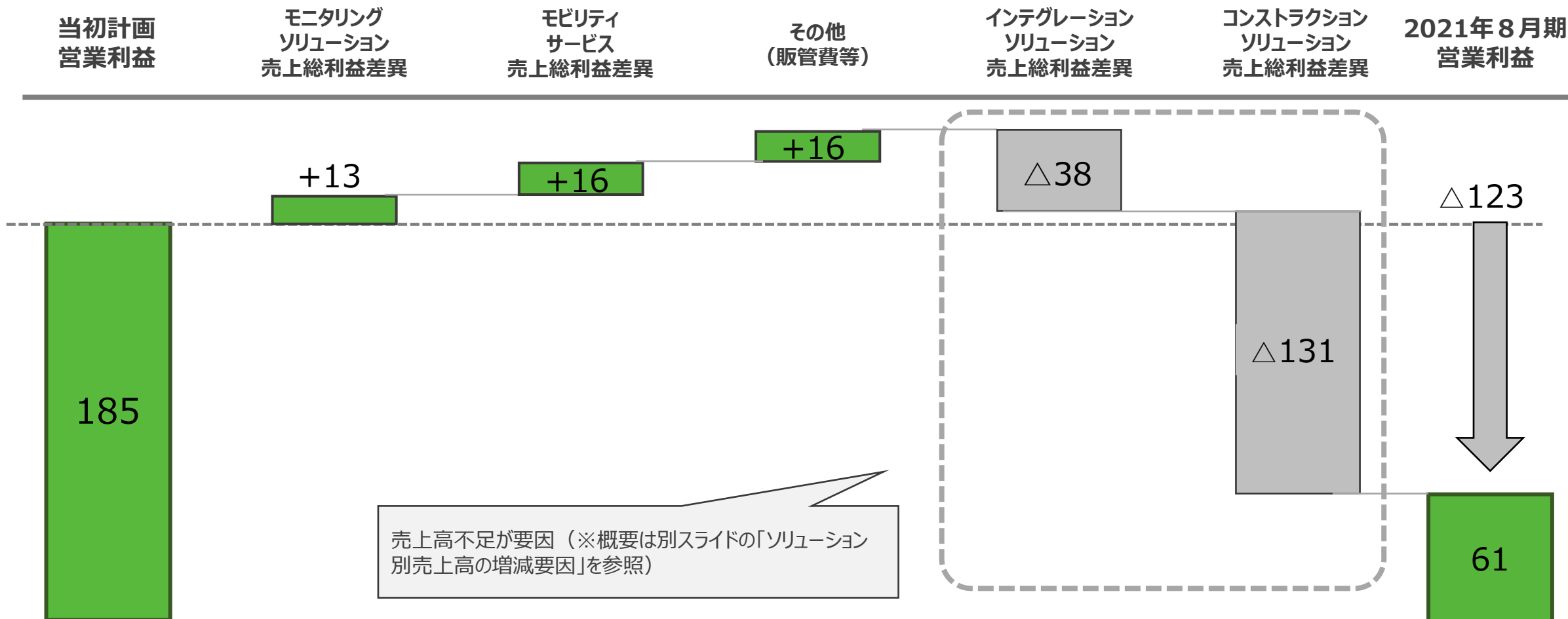
※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

営業利益増減分析（対計画）



モニタリングソリューションや事業全体の販管費等において収益及び費用計画を上回る良好な結果となったが、他事業部における売上高不足が影響し売上総利益は減少、営業利益61百万円の着地となった

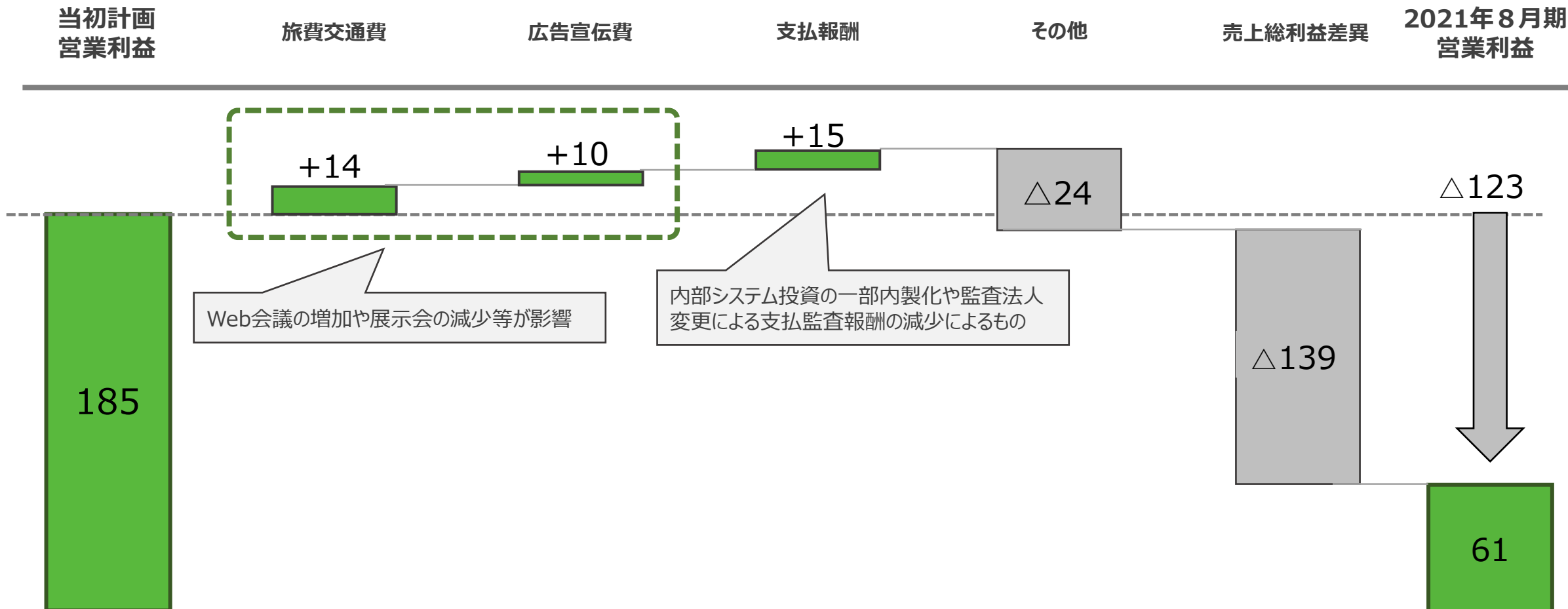


※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

営業利益増減分析（対計画 販管費フォーカス）



新型コロナウイルス感染症の影響によるWeb会議の増加や展示会の減少等によって旅費交通費・広告宣伝費は減少。支払報酬は内部システム投資の一部内製化等により減少。しかし、売上総利益の不足によって営業利益は計画を下回る数値となった



※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

(単位：百万円)

貸借対照表



有利子負債の返済が進行したが、在庫の減少等によって現預金は増加した

(単位：百万円)

	2020年8月期 (2020年8月31日)	2021年8月期 (2021年8月31日)	増減
流動資産	1,596	1,651	+55
(現金及び預金)	611	742	+130
固定資産	363	311	△51
総資産	1,960	1,963	+3
有利子負債	613	492	△121
自己資本	1,053	1,075	+22
自己資本比率 (%)	53.7%	54.8%	+1.1pt

キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローが改善し、獲得した資金により借入金の返済が順調に進行



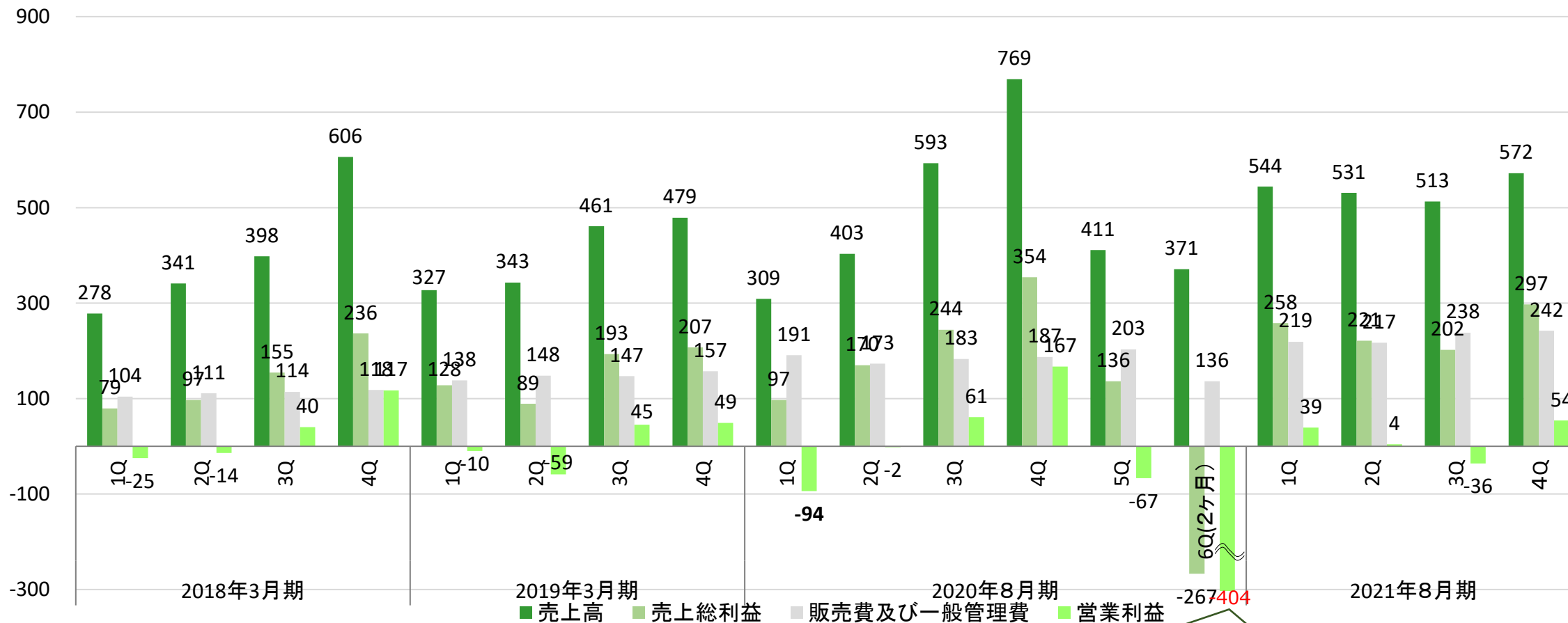
(単位：百万円)

	2020年8月期 (2020年8月31日)	2021年8月期 (2021年8月31日)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△278	+303	+582
うち、たな卸資産の増減額	16	△23	△39
投資活動による キャッシュ・フロー	△18	△12	+6
財務活動による キャッシュ・フロー	141	△161	△302
現金及び現金同等物の 増減額	△156	+129	+285

四半期業績推移



(単位：百万円)

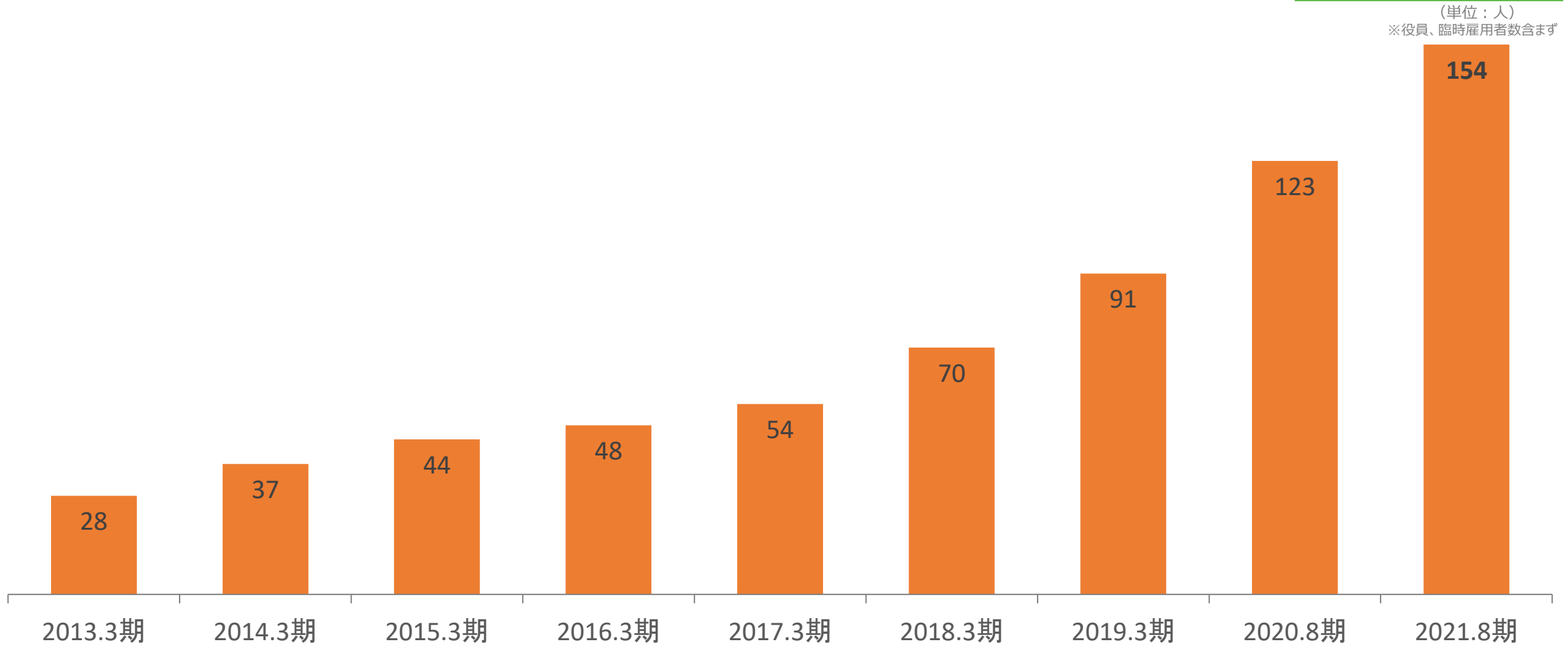


※2020年8月期3Qより子会社の損益計算書を連結しており、2020年8月期2Q以前は単体の数値
 ※2020年8月期6Qは変則決算のため2ヶ月間の数値

棚卸資産評価損
412百万円を含む

従業員数経年推移

第3四半期時点で当期計画の人員体制となった



※2020年8月期より連結となっております

アジェンダ

1. 2021年8月期決算概要

2. 2022年8月期通期業績予想

3. Appendix

2022年8月期業績予想の考え方



2021年8月期からの3ヶ年は、2021年1月14日に発表した『中期経営ビジョン』の推進強化期間と位置付け、その方針をより加速させる。さらに、資本業務提携によるシナジー創出や、新パッケージ商品の開発に注力し、事業運営を推進する

目標達成に向けた施策

1. 中期経営ビジョン各プランの推進をさらに強化（P16～P20）
2. モニタリングソリューションのストック基盤強化（P21）
3. コンストラクションソリューションのパッケージ拡充（P22）

売上高 : 2,567百万円（対前期実績 + 405百万円）
営業利益 : 107百万円（対前期実績 + 45百万円）

目標達成に向けた施策 1 : 中期経営ビジョンの推進をさらに強化(サマリー)



2021年1月の中期経営ビジョンで掲げたプランは、それぞれ順調に進捗しており、2022年8月期においても、事業計画達成に向けて推進をさらに強化

中期経営ビジョン

1

監視サービス事業の確立と
半自動オペレーション構築

● パーソルP&T社との業務提携によるIoT監視センターが順調に稼働中

・24時間365日対応の有人監視サービスを全国へ提供中。超拡大予測の市場で売上拡大を見込む

2

安全性に優れたIoT
蓄電池を新市場へ展開

● 新型コロナウイルスワクチンフリーザー対応型UPSの導入が全国へ拡大

・東京都と北海道のほか、4県で導入。IoT監視センターによる24時間監視もオプション提案し、拡大を図る

3

KDDI社との資本業務提携
におけるシナジーについて

● ICSのパッケージ拡充と、大型案件の共同受注に向け連携強化中

・開発連携強化を図り、KDDI IoTクラウドStandardに中小企業向けのパッケージの検討・構築を開始
・大型案件の共同受注に向け営業における連携をさらに強化中

4

新型コロナウイルス対策を
背景に新事業を促進

● AI×IoTのソリューション企画力と開発力で社会に貢献

・KDDI IoTクラウドStandard への2機能追加に加え、FY22は中小企業向けパッケージの構築を推進

5

コンストラクションソリューション
における機会増大

● 測量系IoTサービスと遠隔臨場対応サービスが対前期、対計画で大幅伸長

・高精度クラウド型自動計測が求められる現場で測量系IoTが好調。また、遠隔臨場対応サービスも依然好調

目標達成に向けた施策 1 : 中期経営ビジョンの推進をさらに強化①



① 監視事業の確立と半自動オペレーション構築

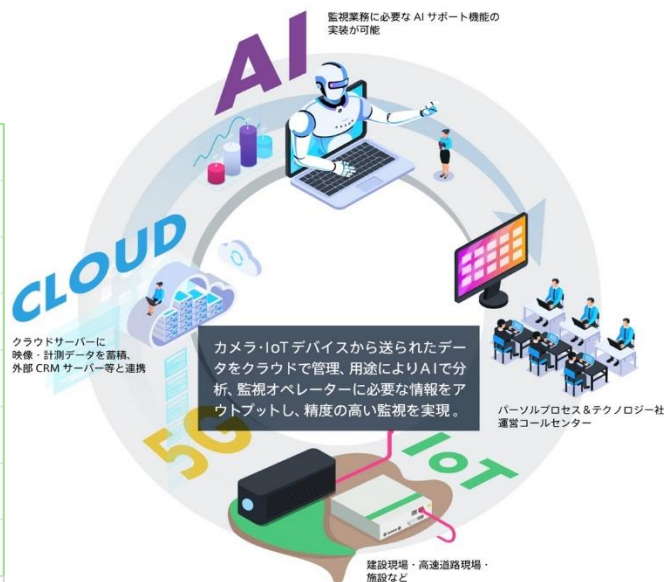
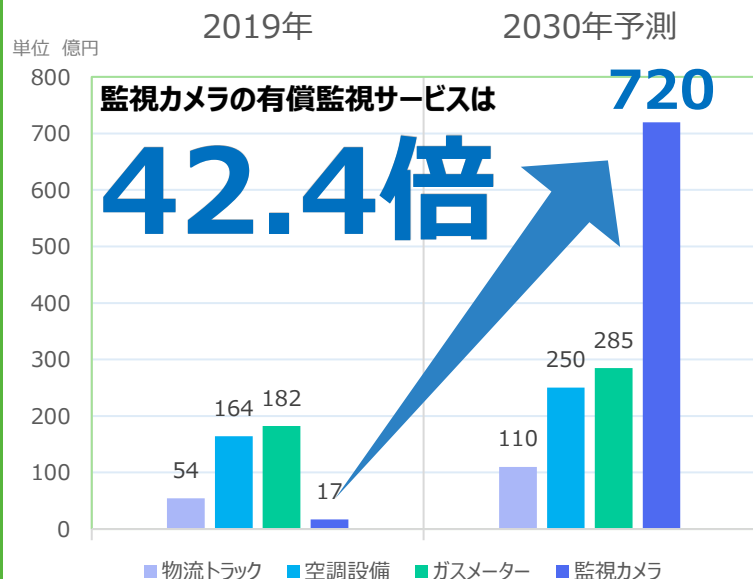
総合人材サービス・パーソルグループのパーソルプロセス&テクノロジー株式会社とリモートモニタリング業務の協業により開設したIoT監視センターは順調に稼働。超拡大が予測される市場において、全国での導入拡大を目指す

リモートモニタリング市場動向 (予測)

IoT監視センター (イメージ)

IoT監視サービス概要

リモートモニタリングサービスの国内市場調査
(富士経済「2020年版 リモートモニタリング関連技術・市場の現状と将来展望」より)



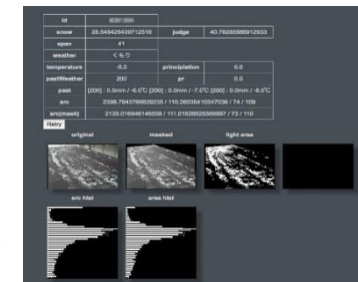
問題発生時に早期対応が可能

24時間の遠隔監視により高速道路での交通事故等の発生を目視確認し、迅速に決められた担当者へ連絡します。担当者は現地確認・復旧の早期対応が可能となることから、渋滞発生等の二次的な問題への発展可能性を抑制することができます。

24時間 365日 夜間や休日も安心

24時間 365日 IoT監視センターでオペレーターが監視を代行。夜間や休日長期連休も安心して、現場を離れることが可能になります。

サービス概要



撮影データと、コールセンターで活用するクラウドCTIやCRMとのデータ連携によって、インシデント対応もサポート。

それらデータをAIに組み込むことにより、クラウドカメラによる画像解析と個々の特徴を加味したクオリティの高い判定を可能とする。

人手不足や施設・設備・インフラの老朽化より、状態監視の自動化ニーズが高まっている。中でも建設設備分野が大きく伸びるものと予測されており、特に『監視カメラ』の市場規模が超拡大するものと予測される

施設管理・危機管理者に対し、24時間365日の有人リモートモニタリングサービスを提供。モニタリング業務の適正化や生産性向上に貢献

IoT通信デバイス1台からモニタリングサービスを提供可能。課題に応じたカメラや、監視業務の判断材料として使用できる環境計測データ、機器稼働データ等のセンサーデバイスを選定し、モニタリング業務のプロセス設計・導入・運用を一貫して支援

目標達成に向けた施策 1 : 中期経営ビジョンの推進をさらに強化②,③



② 安全性に優れたIoT蓄電池を新市場へ展開

新型コロナワクチン保管用フリーザー対応型UPSが各地で導入。各地域の代理店と連携強化し、更なる拡大をめざす

IoT無停電電源装置 概要

出力電流を50Aとし保管用フリーザーの突入電流に対応

UPS → IoTゲートウェイ → モバイルネットワーク → クラウドサーバー → 監視・操作 PC/モバイル端末

長寿命型 制御弁式鉛蓄電池
35°Cの使用環境下で
フロート寿命10年を実現

36% 23℃ 97%

③ KDDI社との資本業務提携におけるシナジー

- ・大型案件の共同受注に向け連携を強化
- ・ICSに中小企業向けの新パッケージを検討

大型案件の共同受注に向け連携を強化



虎ノ門



高輪

※ 2 拠点の接続例

JR東日本とKDDIが共同始動する「空間自在コンソーシアム」に参画のほか、大手企業の業務に直結するシステムやサービス、デバイスの開発に着手。大型受注に向け、開発、営業双方での連携を強化し、期中の売上貢献を見込む

<プロジェクト紹介URL>

- プロジェクトWebページ (JR東日本、KDDI共同)
<https://kukanjizai.com/>
- コンソーシアム設立、実証実験に関するプレスリリースWebページ (JR東日本)
https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210511_ho02.pdf
- コンソーシアム設立に関するプレスリリースWebページ (KDDI)
<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2021/05/11/5094.html>
- ワークプレイス実証実験に関するプレスリリースWebページ (KDDI)
<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2021/05/11/5095.html>

KDDI IoTクラウドStandard に中小企業向けパッケージを

- KDDI IoTクラウド Standard サーマルカメラパッケージ
- KDDI IoTクラウド Standard 換気促進パッケージ
- KDDI IoTクラウド Standard 監視カメラパッケージ
- KDDI IoTクラウド Standard 温湿度パッケージ
- KDDI IoTクラウド Standard 位置情報パッケージ『こころ』
- KDDI IoTクラウド Standard 混雑可視化パッケージ
- KDDI IoTクラウド Standard エッジAIカメラパッケージ

LPWA通信の採用により、低消費電力化と通信料の低価格化を実現。設置も簡便なため、災害時におけるフリーザー温度管理およびバッテリー状態の遠隔管理にも非常に適している。IoT監視センターでの24時間有人監視もオプションで提供

KDDI IoTクラウドStandard に「混雑可視化パッケージ」と「LIVEコース Pro」の2機能を拡充。これにより、新型コロナウイルス感染症対策の強化やニューノーマル時代に対応した新しい働き方を促進したい法人企業を支援

目標達成に向けた施策 1 : 中期経営ビジョンの推進をさらに強化④



④新型コロナウイルス対策を背景に新事業を促進

FY21、KDDI IoTクラウドStandard に「混雑可視化パッケージ」と「LIVEコース Pro」の2機能を拡充。FY22は中小企業向けパッケージの構築を進め、ニューノーマル時代に対応した新しい働き方を促進したい法人企業をより支援

混雑可視化パッケージ

パッケージなし	温湿度	こころート	セキュリティ	検針	換気促進	サーマルカメラ	混雑可視化	監視カメラ	パッケージなし
データ活用クラウド	LOGGER (LPWA) コース	LOGGER コース						LIVE コース	LIVE コース Pro
通信ネットワーク	LPWA	LTE (Cat.4、Cat.1)/SORACOM Air for セルラー							

LIVEコース Pro

パッケージなし	温湿度	こころート	セキュリティ	検針	換気促進	サーマルカメラ	混雑可視化	監視カメラ	パッケージなし
データ活用クラウド	LOGGER (LPWA) コース	LOGGER コース						LIVE コース	LIVE コース Pro
通信ネットワーク	LPWA	LTE (Cat.4、Cat.1)/SORACOM Air for セルラー							

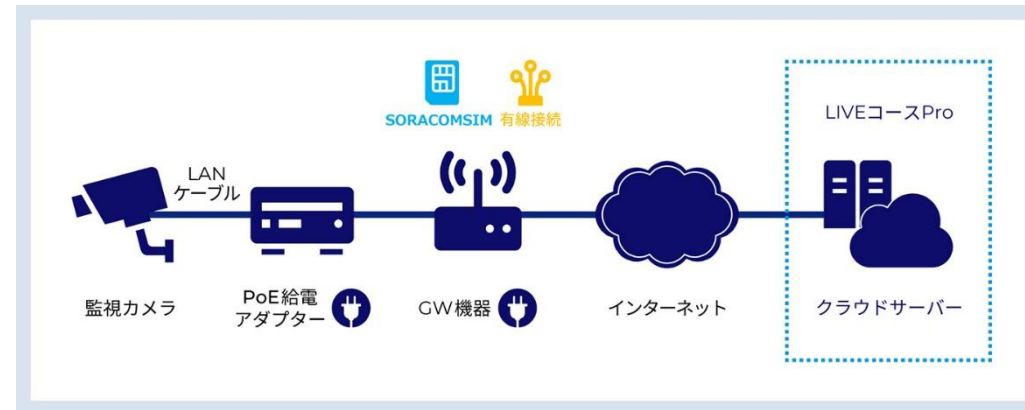


ユースケース①
中小規模の飲食店、病院・地方自治体の受付



ユースケース②
オフィスの会議室

SIMカード内蔵の専用カメラで撮影した映像をクラウド上でAI解析し、検知された「人」にマスクングをかけて表示。これにより、プライバシーに配慮した上で空間の混雑・空き状況などを可視化できる



クラウドサーバに映像を蓄積・保存し、“いつでも”“どこでも”映像視聴が可能なクラウドサーバ機能を提供。監視・管理といった用途にとどまらず、遠隔から現場の状況をリアルタイムに把握するためのさまざまな用途で活用が可能

電源が必要

目標達成に向けた施策 1 : 中期経営ビジョンの推進をさらに強化⑤



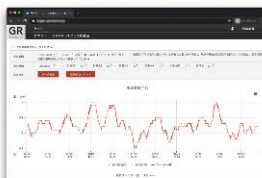
⑤ コンストラクションソリューションにおける機会増大

測量系IoTが前年同期間比300%超に。また、遠隔臨場対応型サービスのGRIポートは、上方修正後の計画に対し140%の達成率となった。FY22はMET-EYEのブラッシュアップも行い、遠隔臨場の更なる導入拡大を見込む

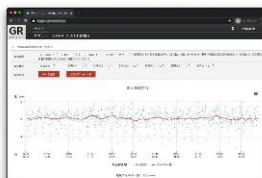
測量系IoT : 計画を大きく上回る設置実績に



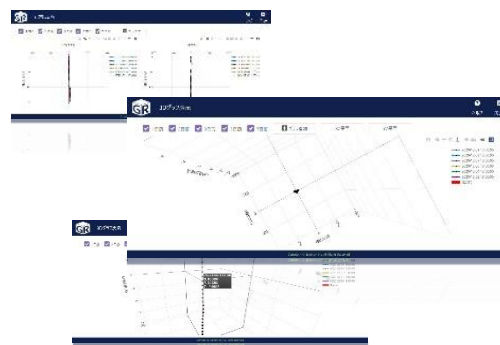
火山活動による
山体膨張・収縮などを監視



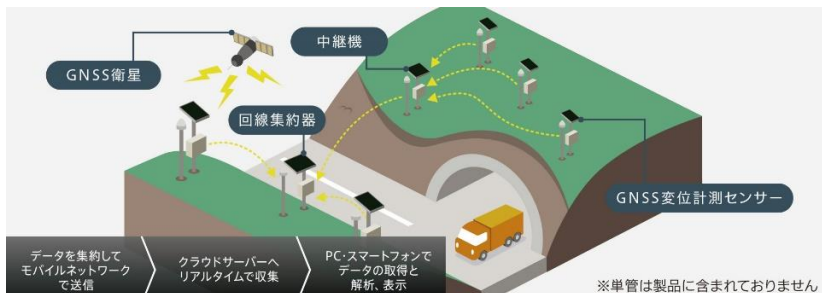
道路の維持管理



鉄塔や周辺地盤の変動監視

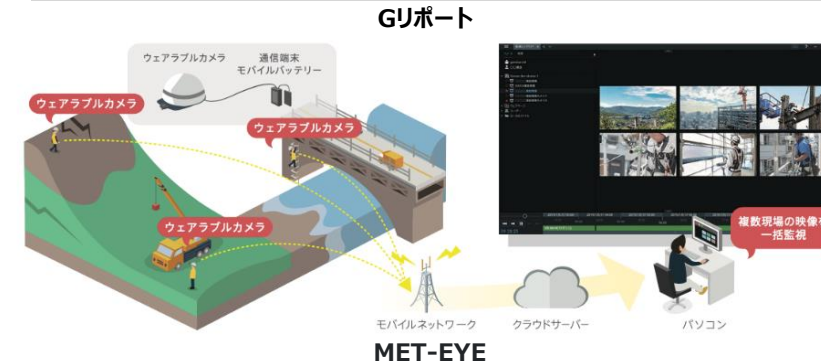


3D地中変位計測



DANA Cloud 沈下計測

遠隔臨場対応サービス : 順調に推移



3次元で高精度な計測を実現するDANA Cloudは、地すべりや火山活動監視など防災用途、地盤変位の監視や、堤防・護岸、ダム堤体、送電線鉄塔、橋梁、構造物、のり面、鉄道路盤等の変状監視や管理など、様々な場所での施工管理段階から維持管理まで幅広く対応が可能。昨年同期間比較で300%超の実績となった

遠隔臨場に対応したサービスが依然好調に推移。GRIポートは大きく情報修正した計画に対し、達成率が140%超となった

目標達成に向けた施策2：モニタリングソリューションのストック基盤強化



業務領域拡大に向けた資本業務提携契約の締結

ユアスタンド株式会社との資本業務提携により、北海道・青森エリアにおいてEVスタンドの販売を開始。これにより成熟市場であった遠隔監視サービス事業の底上げを図り、ストック収益基盤をより盤石なものに

集合住宅向けにEVスタンドの提案

ゆりもっと同顧客に対し高付加価値な提案を行う。2030年までに電気自動車用の充電スタンドを全国で15万基（現在のおよそ5倍）と掲げた政府目標の達成に貢献しつつ、顧客満足度の向上を図る



高い相乗効果が見込める業務提携

ユアスタンド社においては遠隔地のシェア拡大・知名度向上を図る一方、当社においては高いマーケットシェアを誇るものの成熟市場であった遠隔監視サービス事業の底上げを狙う

ワンストップサービス

私たちは、現地調査から、設置工事、設置後の運用までワンストップでサービスを提供させていただきます。お客様の状況やご要望に合わせて最適なプランをご提案させていただきます。



お問い合わせ



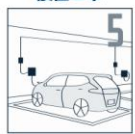
現地調査



管理組合への提案



契約締結



設置工事



アプリによる運用

管理者向けの専用システム

ユアスタンド社
自社開発アプリ

Multi Charging Control
(マルチチャージングコントロール)

複数EVの同時充電を可能にする機能

分電盤 容量: 60A 分電盤 容量: 60A

① 90% ② 60% ③ 100% ④ 70%

20A 20A 20A 20A

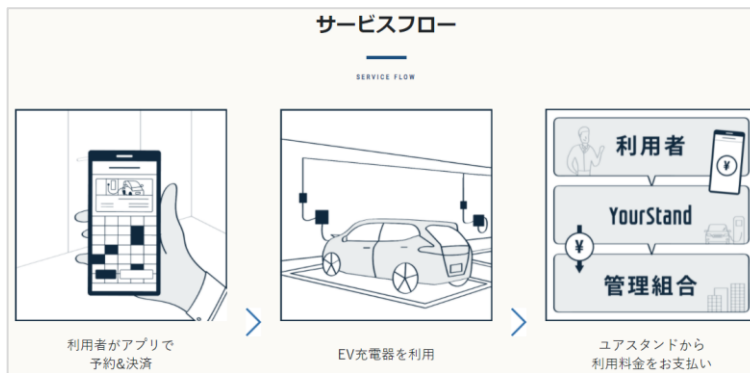
充電完了 充電完了

利用者向けのアプリ

集合住宅におけるEV充電の課題を解決するための利用者向けにアプリを提供

アプリの主要機能

- ・充電器の予約
- ・充電時間に応じた課金
- ・利用明細管理
- ・営業時間設定
- ・来客駐車場予約兼用機能
- ・パスワード機能



ユアスタンド社は電気自動車の充電スタンドの販売・導入・運用管理を行っている企業であり、主に東京を中心とした首都圏の集合住宅向けに営業活動を行っているが、2021年3月からは関西・中部地域にもその幅を広げている

「ゆりもっと」事業において北海道・青森エリアに顧客基盤を持つ当社がユアスタンド社と業務提携を結び、集合住宅向けのEV充電スタンドの導入・運用管理ノウハウを共有。上記エリアでの販売を行う

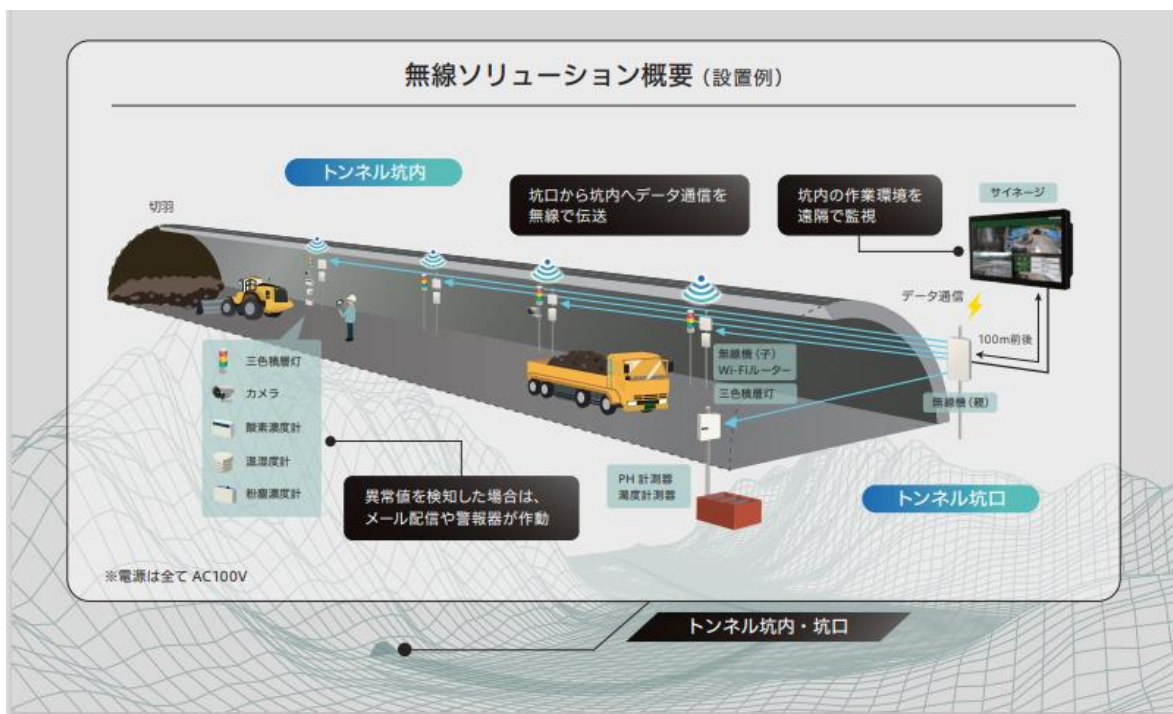
目標達成に向けた施策3：コンストラクションソリューションのパッケージ拡充



コンストラクションソリューションにおける機会増大

トンネル向け通信ソリューションの開発・試験に着手。通信環境の構築困難性から、これまでIoT化がなかなか進んでいなかった当該市場で、期中の普及拡大を目指す

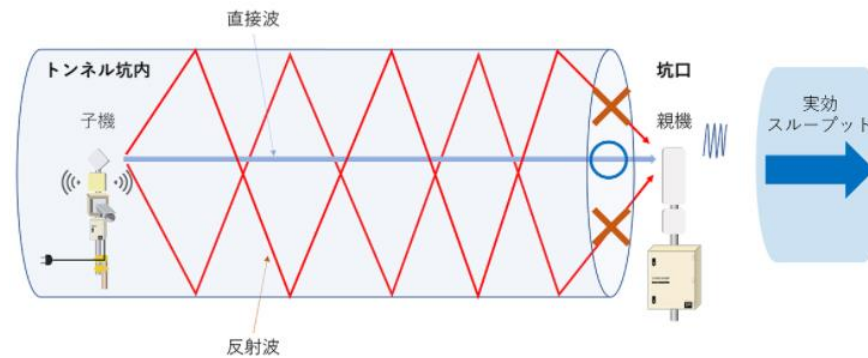
トンネル向け通信ソリューション概要



「マルチパス」や「フェージング」を抑制する長距離通信デバイスを中心にIoT化可能なネットワーク環境をトンネル坑内に構築。これにより、計測データと映像でトンネル内部作業環境の遠隔監視を実現する

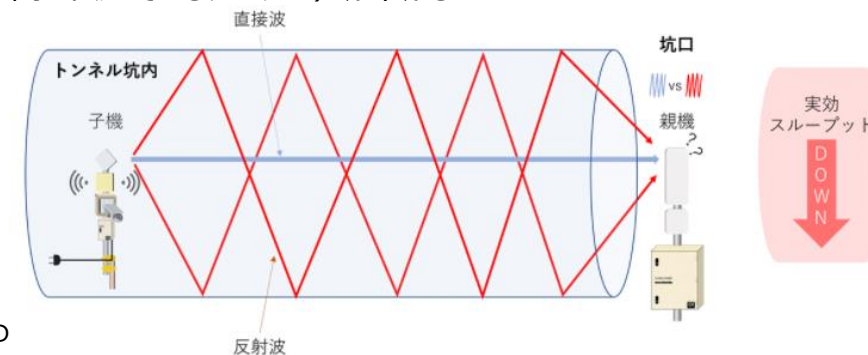
当該長距離無線デバイスの優位性

無線送受信に支障をきたす『反射波』をカット。これにより、トンネル内においても数kmもの距離間で通信を可能とする (見通し最大30km)



従来の長距離無線デバイス

直接波と反射波が入り乱れながら飛ぶことにより (マルチパス)、電波到着時間がズレてスループット (1秒間に伝送できるデータ量) が下がる



通期業績予想



足元の事業動向や新規事業の展望を踏まえて下記の業績予想となる。ソリューション別の概要については別スライド「ソリューション別通期売上高予想」を参照

(単位：百万円)

	2021年8月期 通期実績	2022年8月期 業績予想	対前年実績比 (%)
売上高	2,162	2,567	+405 (+18.7%)
売上総利益	980	1,283	+303 (+31.0%)
売上総利益率	45.3%	50.0%	+4.7pt
営業利益	61	107	+45 (+73.6%)
営業利益率	2.9%	4.2%	+1.3pt
純利益	13	76	+62 (+456.5%)
純利益率	0.6%	3.0%	+2.3pt

※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

ソリューション別通期売上高予想



FY22は中期経営ビジョンの推進強化期間と位置付け、その方針をより加速させる。さらに、KDDI株式会社との資本業務提携によるシナジー創出や、新パッケージの開発に注力し、事業運営を推進。対前年実績で約4億円以上の売上拡大を見込む

(単位：百万円)

	2021年8月期 売上高実績	2022年8月期 売上高予想	対前年実績比 (%)	ソリューションの概況
インテグレーション ソリューション	378	584	+206 (+54.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・KDDIとの連携強化によりKDDI IoTクラウドStandardの案件増および、大型案件の共同受注により売上増 ・直営による大型受託案件やUPS案件の獲得で売上増 ・フィット連結により売上増（FY21は約半期分）
コンストラクション ソリューション	1,047	1,257	+210 (+20.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・好調な測量系IoTと遠隔臨場対応型サービスのブラッシュアップを実施 ・NETIS登録商品の拡充を進行中 ・既存パッケージの稼働向上、販売チャネルの拡大、新パッケージの開発の3つの重点施策の徹底により売上増
モニタリング ソリューション	334	390	+55 (+16.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆりもっととEVスタンドの相乗効果により売上増 ・期ずれとなった連結子会社ストークの案件の確実な獲得
モビリティサービス	402	335	△67 (△16.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・3G停波を見据えた解約が相次ぎ、ストック収益が減傾向なものの、安全運転推進協会と協調した安全運転教育プログラムの提供により顧客満足度向上を狙い、他社サービスへの流出を抑制 ・ストリーミングサービス等の新サービスを拡充し、新規獲得によるフロー売上増
計	2,162	2,567	+405 (+18.7%)	-

※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

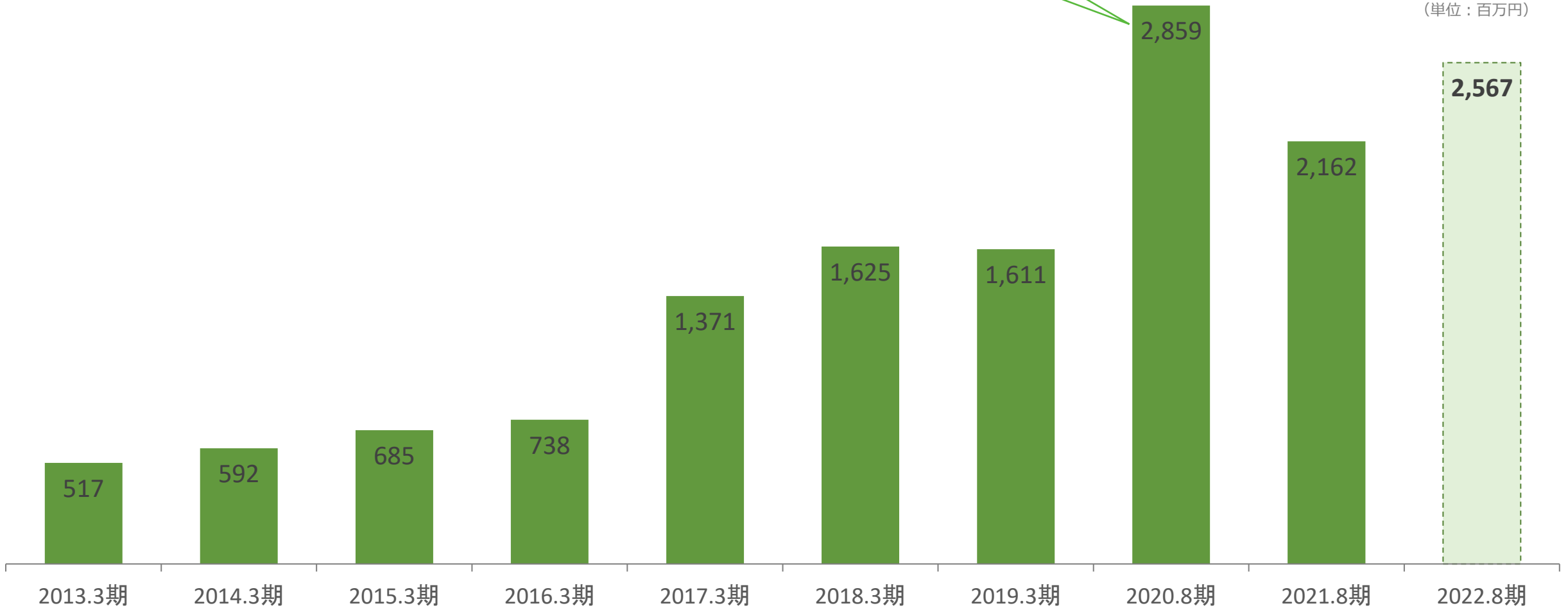
© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

売上高経年推移



(単位：百万円)

FY20
17か月決算

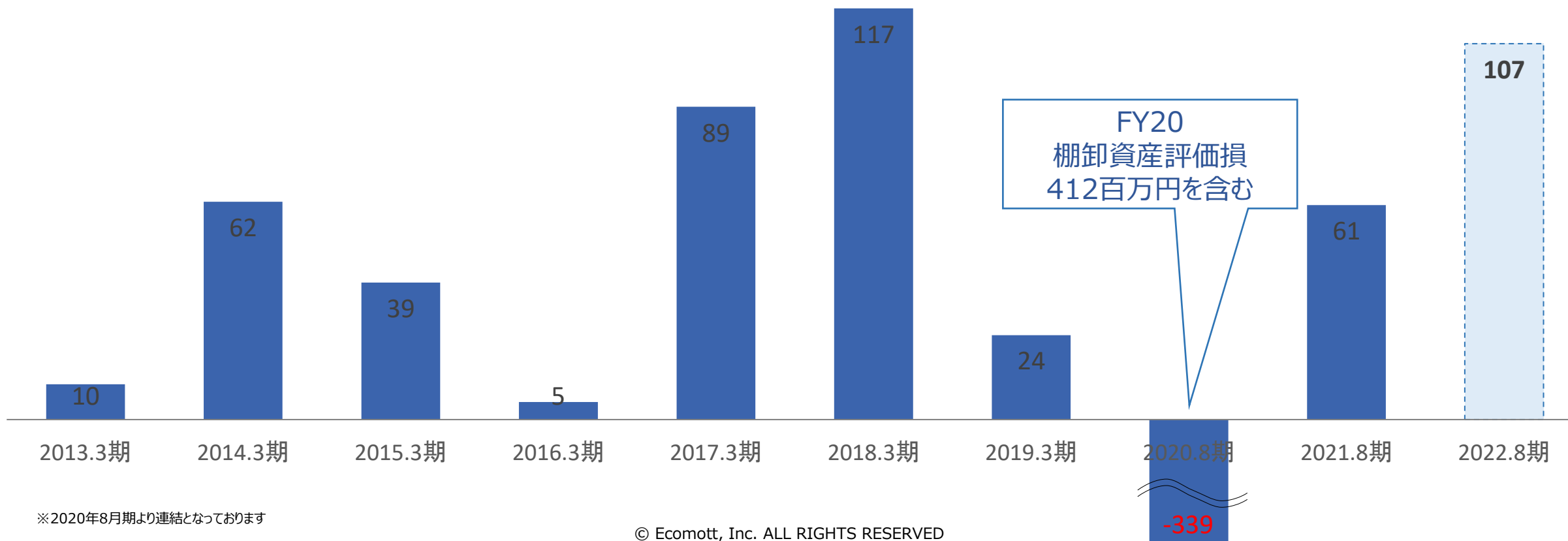


※2020年8月期より連結となっております

営業利益経年推移

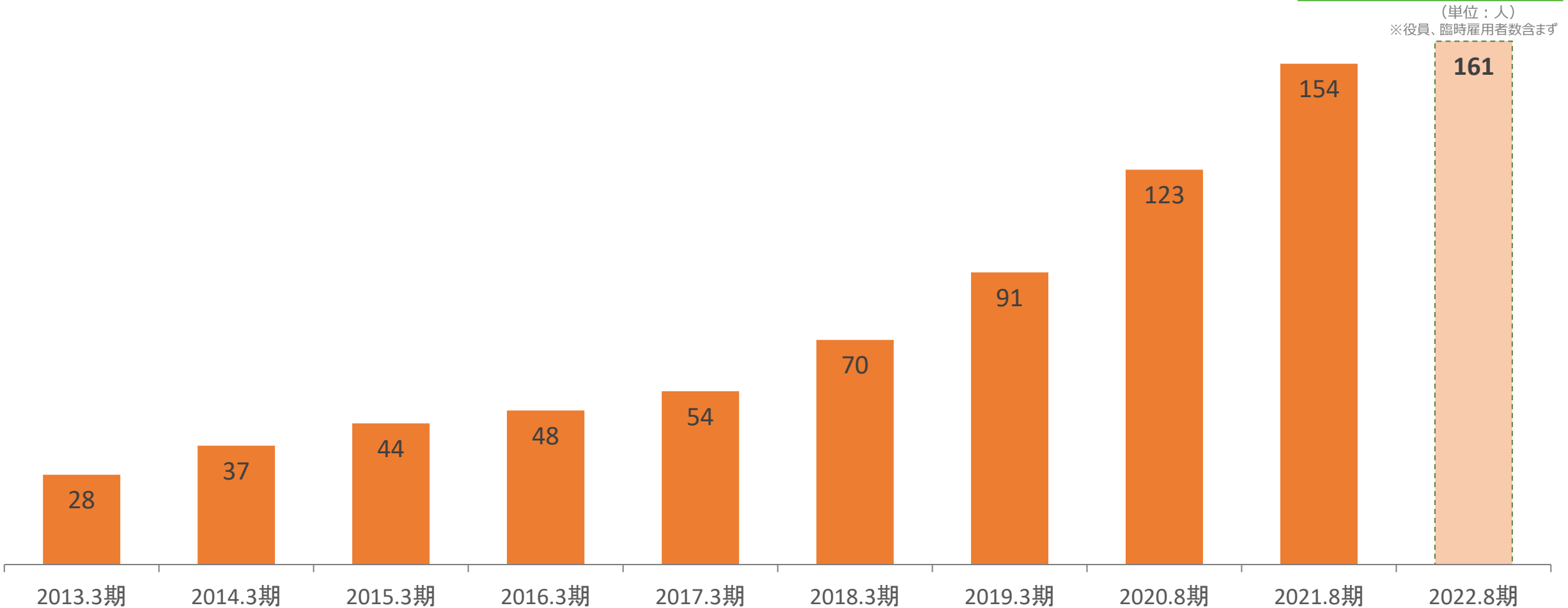


(単位：百万円)



※2020年8月期より連結となっております

従業員数経年推移



※2020年8月期より連結となっております

アジェンダ

1. 2021年8月期決算概要

2. 2022年8月期通期業績予想

3. Appendix



社名	エコモット株式会社
代表者	代表取締役 入澤 拓也
設立	2007年2月（決算期：8月）
資本金	6億1,529万（2021年8月末現在）
本社所在地	北海道札幌市中央区北1条東2丁目5-2 札幌泉第一ビル1F
営業所	札幌・東京・青森・仙台・北信越 東海・関西・中四国・九州
従業員	154名（2021年8月現在、連結）
事業概要	IoTインテグレーション事業

2017年6月21日 札幌証券取引所アンビシャス上場

2018年6月22日 東京証券取引所マザーズ上場

2019年1月15日 KDDI株式会社と資本業務提携

事業紹介

創業以来、一貫してIoTインテグレーション専門プロバイダーとしてソリューションを提供



提供スタイル・ソリューション分類		プラットフォーム・パッケージサービス		
IoT インテグレーション事業	IoTプラットフォームをベースとしたSIによるソリューション 顧客ニーズに合わせて的確にIoT導入を支援	 IoTデータコレクト プラットフォーム FASTIO		
	パッケージサービスを中心としたソリューション	モニタリング ソリューション 遠隔でのカメラ監視によるソリューションを提供	 融雪システム遠隔監視 ソリューション ゆりもっと	
		コンストラクション ソリューション 工事現場の「安全管理」「生産性向上」 「作業精度向上」等の 総合情報化ソリューションを提供	 建設情報化施工支援 ソリューション 現場ロイド	
		モビリティサービス GPS技術を活用したソリューションを提供	 ドライブレコーダー 車載カメラ/無線ネットワーク Pdrive	交通事故削減 ソリューション

IoTプラットフォームをベースとしたSIによるソリューション



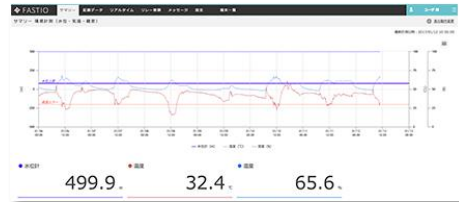
IoTデータコレクトプラットフォーム「FASTIO」により、センシングからデータの蓄積・分析フィードバックまでワンストップで提供することで、お客様のDXを支援

クラウド環境

データ蓄積 ～「クラウド」で集めたデータを蓄積。ダッシュボード閲覧～

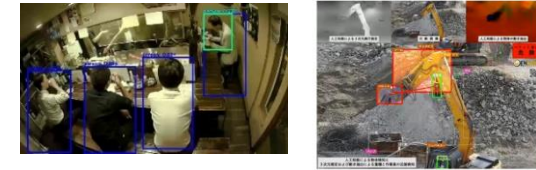
アプリケーション

センサー 映像 位置情報



収集データの閲覧や設備の遠隔制御、位置情報の確認などのアプリケーション群

データ解析 ～集めたデータをAIで解析し、現実世界へフィードバック～



多種多様な学習済みAIを活用し、最適なAIを選定。また、自社のデータサイエンティストによるオリジナルのアルゴリズムも研究開発。

現実世界

データ収集 ～「センサー」でモノから情報を取得し、クラウド環境に送信。～

ゲートウェイデバイス

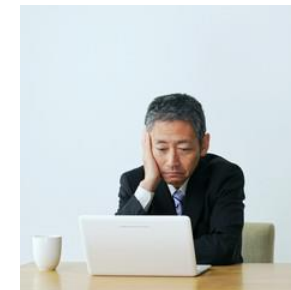


多様なニーズに対応する自社開発の産業用IoT通信デバイス

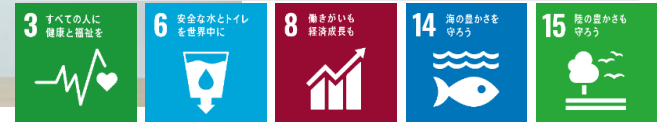


接続実績のある豊富なセンサーパートナープログラム「FASTIO LINK」

【企業抱えている様々な課題に対してDX支援】



- ・ 人手不足が深刻だ。
- ・ 生産性を上げるにはどうしたらよいか？
- ・ 新製品を開発したい。
- ・ 競合に差をつけられないようにするには？



課題

解決

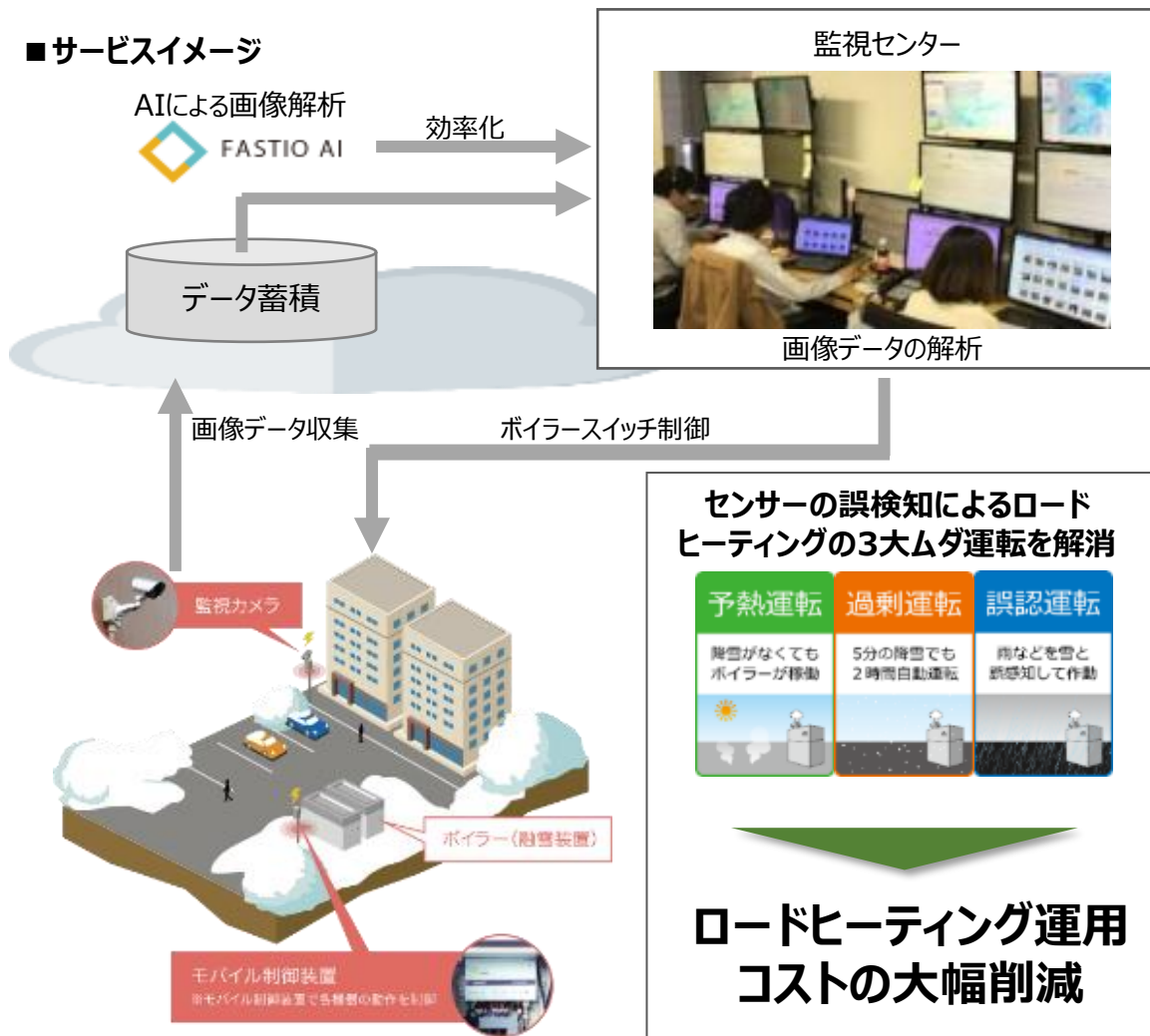
「ゆりもっと」紹介（モニタリングソリューション）



創業事業として融雪システム遠隔制御代行サービス「ゆりもっと」を提供
北海道・北東北を中心に2,400台以上設置し、冬期間の大幅な省エネルギーを実現



■ サービスイメージ

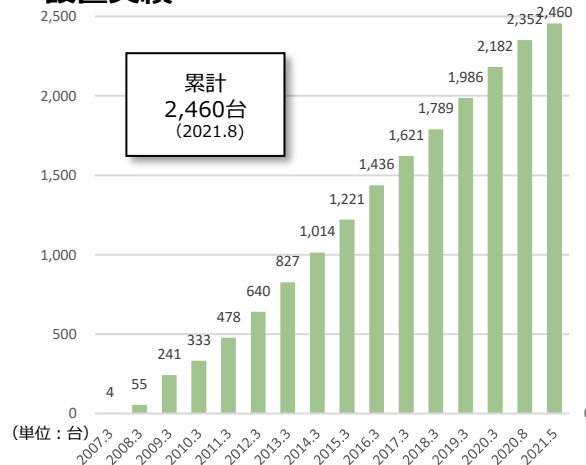


センサーの誤検知によるロードヒーティングの3大ムダ運転を解消

予熱運転	過剰運転	誤認運転
降雪がなくてもボイラーが稼働	5分の降雪でも2時間自動運転	雨などを雪と誤感知して作動

ロードヒーティング運用コストの大幅削減

■ 設置実績



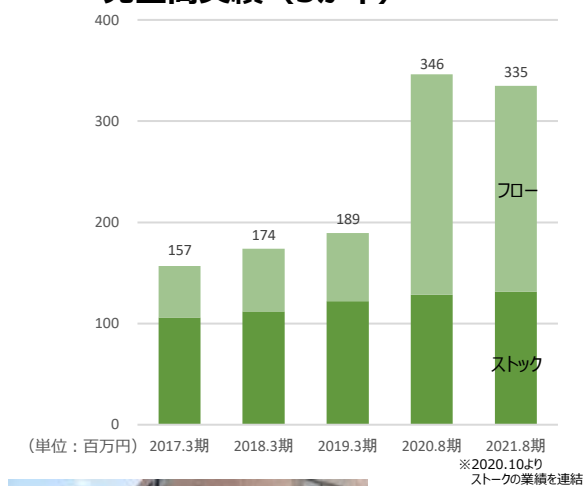
■ 導入事例

札幌市西区賃貸マンションへの導入
 ・融雪面積：1,116㎡
 ・設備状況：融雪ボイラー8台

**1シーズン平均効果額
1,414,800円**

導入後8シーズンで
平均56%の削減効果

■ 売上高実績（5か年）

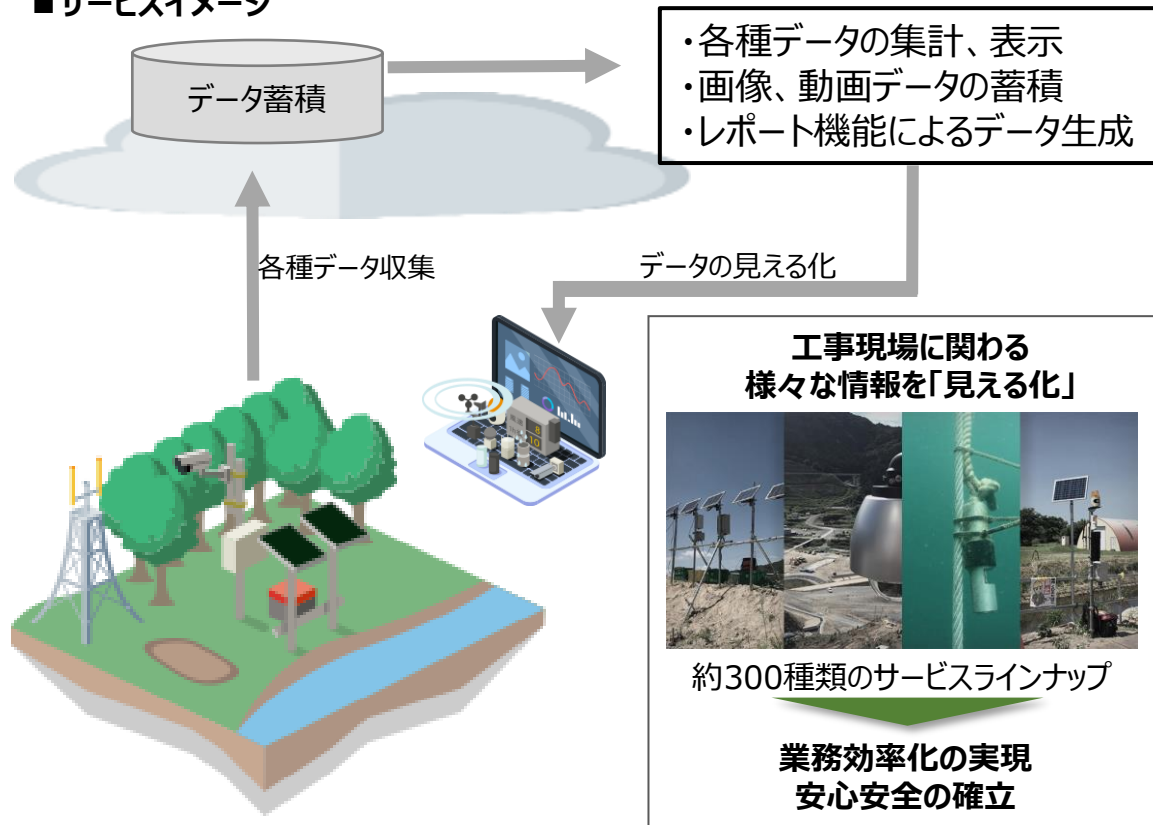


「現場ロイド」紹介（コンストラクションソリューション）



建設情報化施工支援ソリューション「現場ロイド」を2009年以來、12,000件以上の工事現場に設置し、工事現場の安全性向上、業務効率化、品質向上に大きく貢献

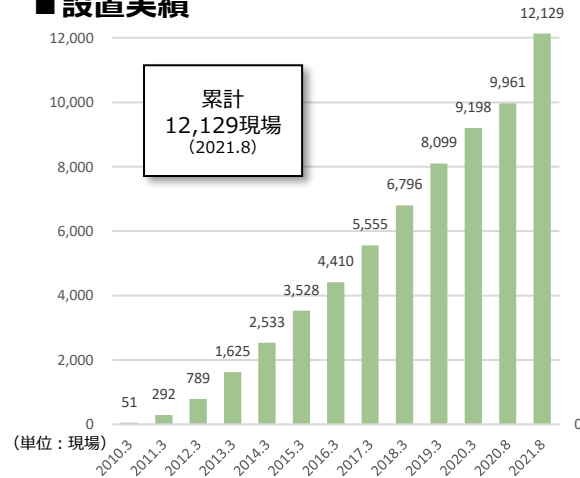
■ サービスイメージ



（参考）NETIS（新技術情報提供システム）について

NETISとは、民間の有用な新技術を積極活用するための国土交通省のデータベースであり、総合評価落札方式にて、NETIS登録技術を提案した場合、加点対象となる現場ロイドでは7技術がNETIS登録されており、多くの公共事業にて導入されている

■ 設置実績



■ サービス事例

・クラウドロガー（遠隔クラウド計測システム）

風速、雨量、水位など現場の様子を自動計測データはクラウド保存され、どこからでも確認可能。設定値に応じ警報装置と連動し安全対策を強化

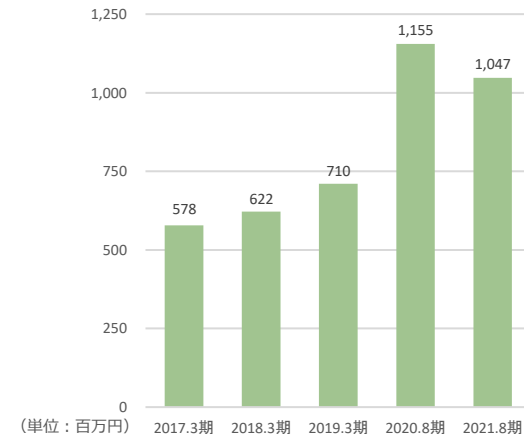


・おんどロイド（コンクリート養生温度管理システム）

厳寒期のコンクリート養生温度管理等に採用現場事務所は1キロ以上離れているが、リアルタイムにモニタリングすることができ、品質向上を実現



■ 売上高実績（5か年）



・ミルモット（遠隔監視カメラシステム）

スマートフォン等で遠隔地から現場状況を動画監視可能。赤外線照射機能により夜間撮影対応し、ソーラーバッテリーでの運用可能



・Tbox（ワイヤレス警報検知システム）

赤外線センサー、衝撃検知センサーなど、現地の警報システムをモバイルネットワークで遠隔地でも検知できるように、防犯・安全対策を強化



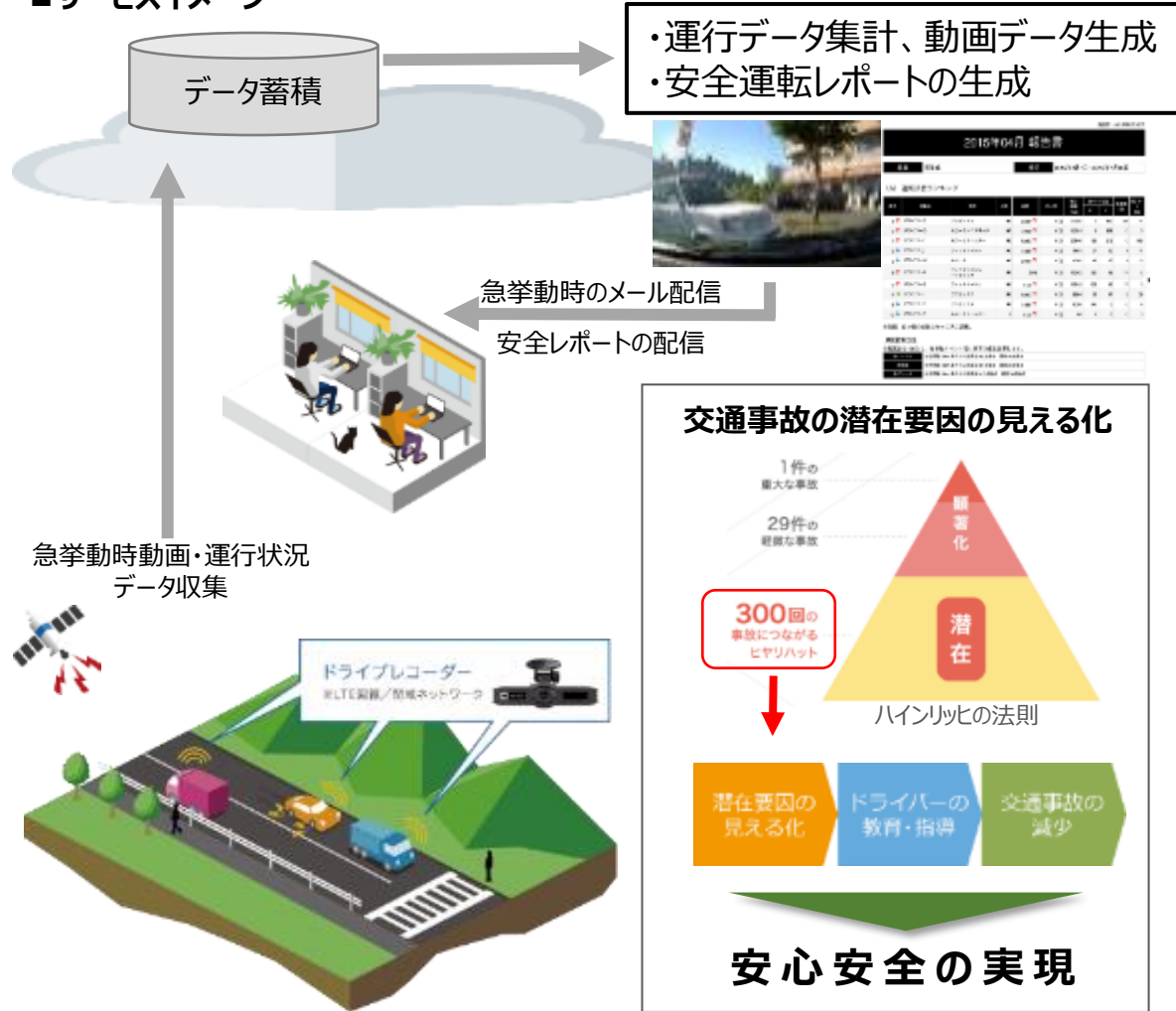
「Pdrive」紹介（モビリティサービス）



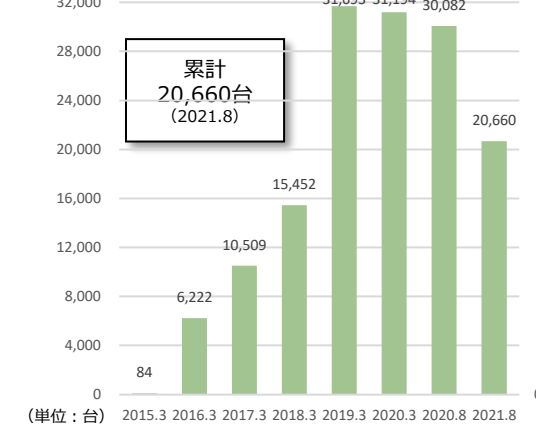
モバイル通信を搭載した高性能ドライブレコーダーを全国へ約2万台提供
導入により安全意識向上が事故の減少につながり、安心安全の実現へ貢献



■ サービスイメージ



■ 設置実績

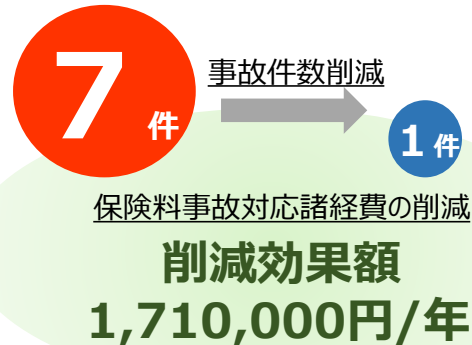


■ 売上高実績（5か年）



■ 導入事例

札幌市 卸売業へ導入
・導入台数：46台



月次ランキングによる評価

ドライバーID	ドライバー名	所属	台数	事故件数
1	ドライバー-A	株式会社A	20	0
2	ドライバー-B	株式会社B	15	0
3	ドライバー-C	株式会社C	10	0
4	ドライバー-D	株式会社D	8	0
5	ドライバー-E	株式会社E	5	0
6	ドライバー-F	株式会社F	3	0
7	ドライバー-G	株式会社G	2	0
8	ドライバー-H	株式会社H	1	0
9	ドライバー-I	株式会社I	1	0
10	ドライバー-J	株式会社J	1	0
11	ドライバー-K	株式会社K	1	0
12	ドライバー-L	株式会社L	1	0
13	ドライバー-M	株式会社M	1	0
14	ドライバー-N	株式会社N	1	0
15	ドライバー-O	株式会社O	1	0

ドライバーごとの特性を把握し、個別指導

エコモットの強み

14年間顧客と向き合い、これまでに13,000件以上の案件に携わった実績が強みとなっている



センシング技術

センサーの豊富な接続実績

パートナープログラムを通じ、多数の接続実績のあるセンサーを用意し、多様なニーズに対応可能



自社開発の通信デバイス

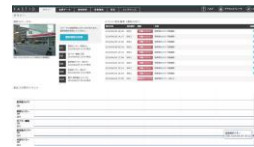
IoT専業だからその多様な顧客ニーズに対応した、多種多様な自社開発の通信デバイスを提供



システム構築力

アプリ・クラウド側のエンジニアと、ハード・ファームウェアを同時に構築できる強み

クラウド



PHP/JAVA
Javascript

ファームウェアアップデート、セキュリティ、カスタマイズ、死活監視、電力監視、パケット量監視など

製品



C,Python
組み込みソフト開発、
回路設計等

MCPC認定資格保有者

IoTプロフェッショナル 1名
IoTエキスパート 18名
IoTアドバイザー 13名

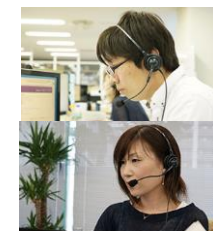
(2021年1月現在)

サービス運用力

豊富な実績が証明するサービス運用体制により「当たり前」に使えるIoTサービスを提供



融雪システム監視
(冬期間24時間)



カスタマーサポート



システム
24時間保守



自社エンジニアによる
カスタマイズ



フィールドでの
設置ノウハウ



キットینگ
出荷作業

あなたの「見える」をみんなの安心に。



本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

エコモット株式会社 経営企画部
TEL : 011-558-6600 Mail : ir@ecomott.co.jp
URL : <https://www.ecomott.co.jp/>